

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成30年12月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:109)
2. 調査実施時期 平成30年12月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法
[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%))-(回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:100社 / 回答率:91.7%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数

(太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6
H30.3	-27	-39	-43	-	-	-
H30.6	-	-26	-29	-30	-	-
H30.9	-	-	-38	-34	-35	-
H30.12	-	-	-	-36	-47	-47

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均

(m3)

	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6
当年	166,125	165,671	160,285	-	-	-
(前年)	163,819	163,061	145,319	128,115	166,125	165,671
対前年比	101%	102%	110%	-	-	-

(概況)

トドマツ原木在庫は前年並みだが、依然として不足感が強く、今後も前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

今後の入荷見込みが少ないため厳しい状況／原木入荷のメドが立たない／小・中径材が特に不足／先行き不安／皆伐により出材増／カラマツと比較すると余裕が見られる／流通量が極端に少ない

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数

(太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6
H30.3	2	-6	-2	-	-	-
H30.6	-	-7	-3	-9	-	-
H30.9	-	-	-10	-9	-19	-
H30.12	-	-	-	7	-10	-9

原木消費量(「林産工場動態調査」より)

(m3)

	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6
当年	190,366	210,344	205,404	-	-	-
(前年)	188,783	218,172	216,811	214,410	190,366	210,344
対前年比	101%	96%	95%	-	-	-

(概況)

トドマツの荷動きは前年並みだが、今後は若干下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

注文が多い状態が続いている／引き合いは多い／動きは昨年同程度だが原木不足により不安／値上げしたいが販売先に受け入れられない／一部カラをトドの製品に換えて出荷／消費税増税によるかけ込み需要に期待

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数

(太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6
H30.3	-55	-57	-57	-	-	-
H30.6	-	-38	-45	-43	-	-
H30.9	-	-	-46	-39	-47	-
H30.12	-	-	-	-59	-64	-57

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均

(m3)

	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6
当年	180,409	192,395	179,587	-	-	-
(前年)	231,761	239,167	220,462	173,281	180,409	192,395
対前年比	78%	80%	81%	-	-	-

(概況)

カラマツ原木在庫は、前年を大きく下回り、今後も引き続き大きく下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

とにかく原木不足／入荷の見込みもなく厳しい状況／価格高で採算取れず／昨年並みの在庫量は確保／道内での流通が不足／パルプ材～製材原木まで全て不足／材の価値が下がらないうちに材の増加が必要

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数

(太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6
H30.3	4	5	2	-	-	-
H30.6	-	6	0	-4	-	-
H30.9	-	-	-8	-10	-14	-
H30.12	-	-	-	11	5	-2

原木消費量(「林産工場動態調査」より)

(m3)

	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6
当年	286,973	312,613	287,480	-	-	-
(前年)	293,447	313,198	297,111	309,295	286,973	312,613
対前年比	98%	100%	97%	-	-	-

(概況)

カラマツの荷動きは前年並みだが、今後は平年並みの見通し。

(回答企業の主なコメント)

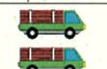
オーダーは旺盛／一部断っている／原木の不足感より前倒し発注が多い／人手不足により注文をこなさきれない／荷動き順調、先行きの不安なし／H28年度とほぼ同数量／すべての注文に対応出来ている

道内の木材需給の見通し（平成30年12月調査分）

—平成31年1月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

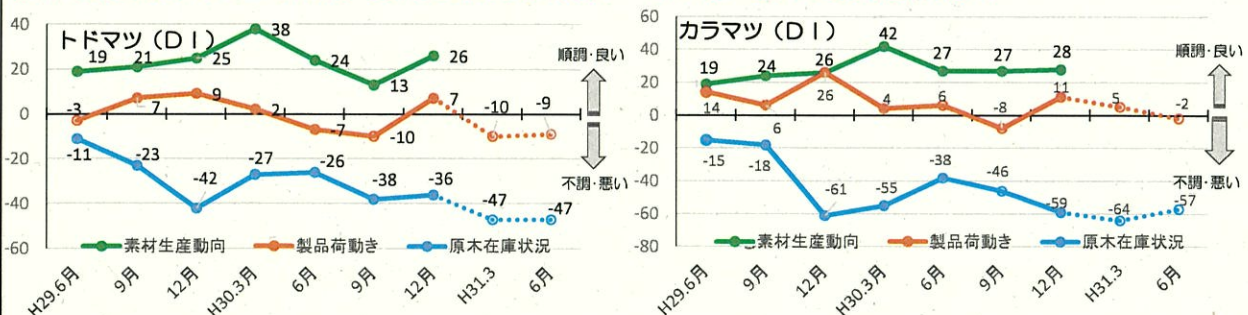
トドマツ	《10~12月》 	《H31.1~H31.6月見通し》 	○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を下回っており、今後も引き続き前年を下回る見通し	《凡例》 《原木在庫》  《前年を上回る》  《前年並み》  《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は前年並みで、今後は若干前年を下回る見通し	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を大きく下回っており、今後も引き続き前年を大きく下回る見通し	《製品荷動き》  《前年を上回る》  《前年並み》  《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は前年並みで、今後は前年並みの見通し	

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

トドマツ	《12月》 	《H31.1月見通し》 	○「素材生産動向」は「順調」36%、「並み」54%、「不調」10%となっており、前月同様に順調な傾向の見通し	《凡例》  《順調》  《並み》  《不調》
			○「素材生産動向」は「順調」37%、「並み」54%、「不調」9%となっており、前月同様に順調な傾向の見通し	

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI
○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

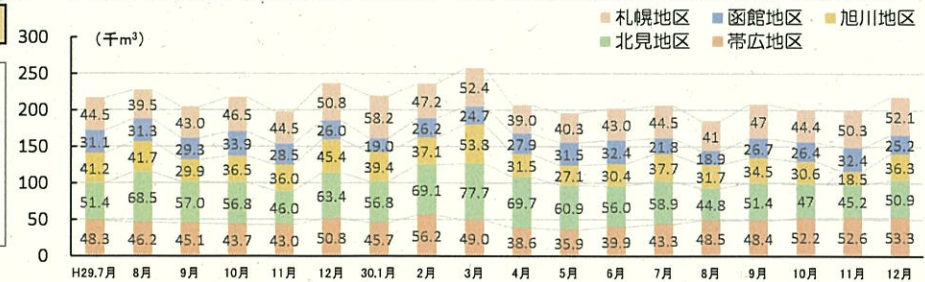


《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

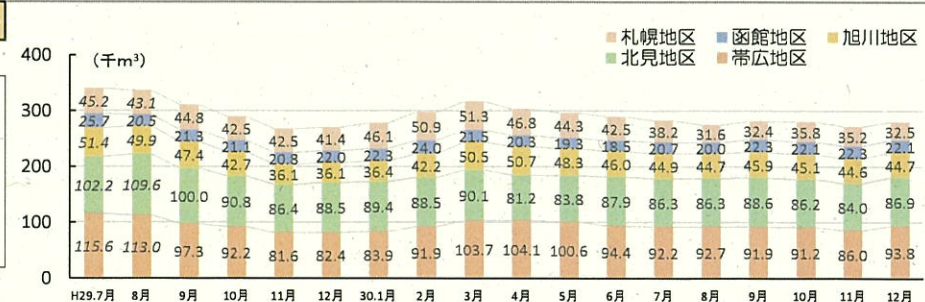
素材生産量の推移

- 12月の素材生産量は前月比7.8千m3増の217.8千m3
- 1月の素材生産量は2.2千m3減の215.6千m3の見通しで、帯広・函館地区でやや減少の見通し



製材工場の原木在庫量の推移

- 12月のトドマツ原木在庫量・原木消費量とも前年同月に比べ増加の見込み
- 12月のカラマツ原木在庫量・原木消費量とも前年同月に比べ減少の見込み



注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でH30.10~12月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI（地区別）

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

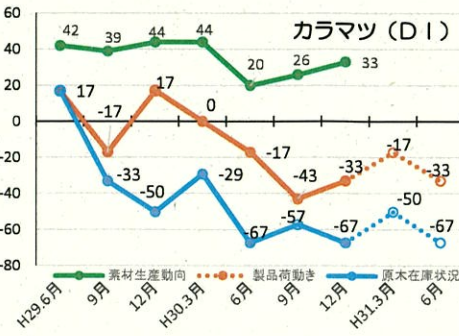
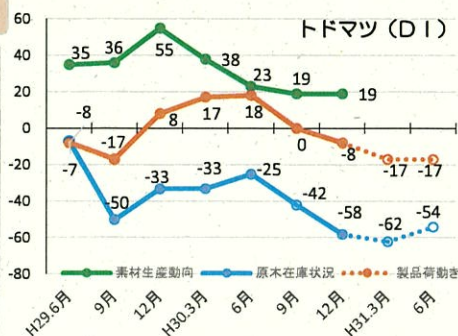
札幌地区（石狩・空知・胆振・日高）

【トドマツ】

- ・素材生産は順調な見通しもやや下降傾向
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は引き続き順調な見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し



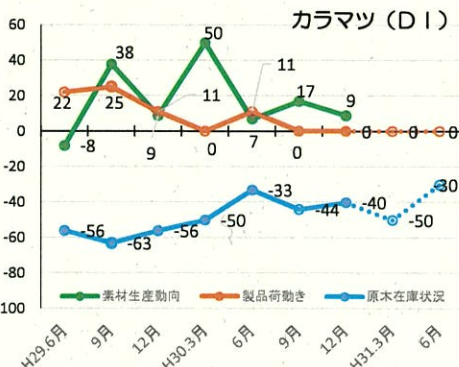
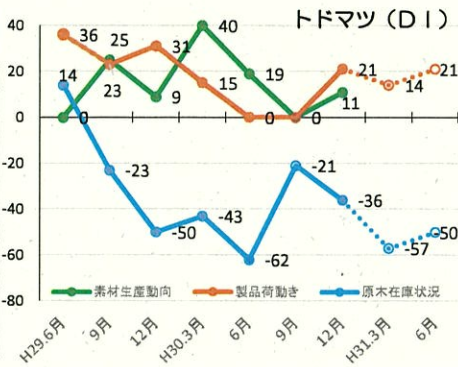
函館地区（渡島・檜山・後志）

【トドマツ】

- ・素材生産は順調な見通しもやや下降傾向
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は順調な見通しもやや下降傾向
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年並みの見通し



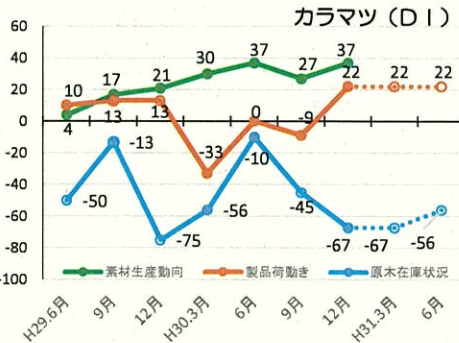
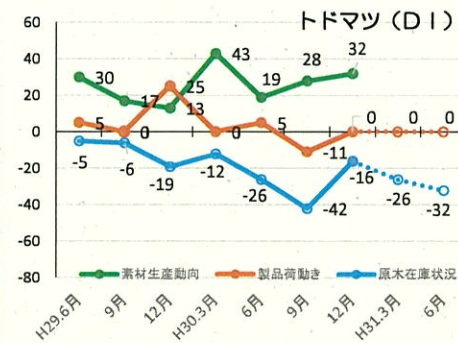
旭川地区（上川・留萌・宗谷）

【トドマツ】

- ・素材生産は順調な見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年並みの見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は引き続き順調な見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し



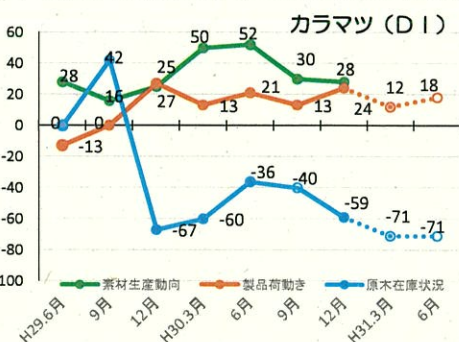
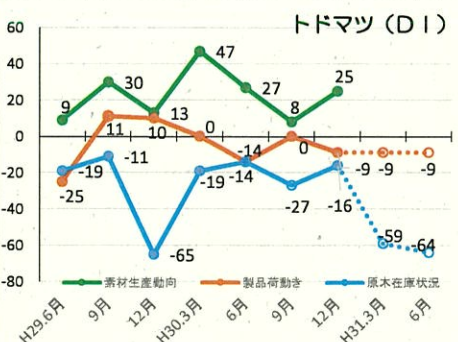
北見地区（オホーツク）

【トドマツ】

- ・素材生産は順調な見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を若干下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は順調な見通しもやや下降傾向
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し



帯広地区（十勝・釧路・根室）

【トドマツ】

- ・素材生産は引き続き順調な見通し
- ・原木在庫、製品荷動きとも前年を下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は順調な見通しもやや下降傾向
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年並みの見通し

